

令和5年度公益財団法人新潟市海洋河川文化財団 事業報告

事業概要

【期 間】

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、教育文化の普及啓発事業の一層の充実を図っていくとともに、当財団の主事業である新潟市水族館の指定管理業務について5年間の指定管理期間のうち最後の5年目の管理運営を行った。

水族館事業では、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」へ移行したことにより全国的に旅行意欲が高まり、入館者数は543,257人で対前年度比105.5%と増加した。また、年間パスポート販売数も過去最高を記録した令和4年度とほぼ同じであり、多くの新潟市民の方からご来館いただいた。

普及啓発事業においては、例年実施する田んぼ体験や観察会などの野外体験教室のほか、「ラムサール条約湿地自治体認証」※の記念事業を通常のプログラムに合わせ実施し、湿地都市新潟市の魅力を発信、湿地への関心の向上を図った。また、教育機関や行政機関との連携、出張展示など各種団体との連携も積極的に行った。

飼育生物については、600種20,000点の魚類、海獣その他水生生物の飼育展示数を維持した。令和5年度は7月にトドが出産、さらにウミガラスのヒナが誕生した。その他、東京都葛西臨海水族園のペンギン施設の改修工事に伴い、フンボルトペンギン20羽を預かった。

水族館の次期指定管理者の選定が行われ、当財団は、令和6年度から新たに5年間の指定を受け、管理運営を継続して行うこととなった。選定に当たって提案した事業や目標を確実に実施・達成するとともに、引き続き新潟市水族館の指定管理者として来館者の安心・安全を第一に考え、一層の来館者の満足度向上に努める。そして、新潟市水族館の設置目的と「新潟で一番愛される施設」という私たちのビジョンを達成し、併せて法人としても健全な運営を行っていく。

なお、事業報告の詳細については、次のとおりである。

※湿地の保全・再生、管理への地域関係者の参加、普及啓発、環境教育等の推進に関する国際基準に該当する自治体に対してラムサール条約に基づき認証を行うもの。鹿児島県出水市とともに、日本の自治体として令和4年11月に初めて認証を受けた

【事業名】

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

【主な事業内容】

(1) 海洋・河川文化の普及啓発

☎…新規事業

区 分	名 称	プログラム等	実施日等	参加人数
体験学習	※田んぼ体験	田植え	6/4	23人
		稲刈り	10/1	23人
		脱穀	10/15	14人
		わら細工	11/5	16人
	野外体験教室	貝の標本づくり	8/17	19人
		スナガニ観察会	9/3	20人
		※潟の生きもの観察会	9/24	20人
		海辺の漂着物探索会	3/23	19人
講演会	マリンピアカレッジ	カマイルカの音	4/2	25人
		クラゲの不思議を覗いてみよう	6/17	34人
		森林と海のつながり～木工おさかなアートを作ってみよう～	9/10	16人
	特別講演会	研究者が語る新潟の淡水魚とコシノハゼ	2/17	50人
各種団体との連携	社会教育連携	※舟にのって水草刈りと泥上げ体験(新潟市歴史博物館との連携プログラム)	10/7	13人
		☎海のミュージアムサポート海岸清掃	6/25・7/17・9/18 (中止:8/7・10/9)	183人
	学校教育連携	総合学習の受入れ	小学校17校、中学校9校、高等学校8校、その他11校のべ45校	1,264人
		教育現場への講師派遣	小学校14校、中学校2校、高等学校1校、大学1校のべ18校	派遣23人

		実習生の受入れ	大学 27 校、専門学校 10 校 のべ 37 校	37 人
出張展示関連		ばんえつ発見の旅サポートイベントへの参加	6/10・11	3,976 人
		ちょ～生き物発表会シーズン 6 への出展	11/4	約 600 人
		県立図書館 漂着物パネル展示	12/13-27	約 10,000 人
		にいがた環境フェスティバル 2023 への出展	12/23	約 1,000 人
		潟（かた）フェス 2024 への出展	2/12	約 700 人
行政機関連携		県立がんセンター新潟病院 小児病棟 ライブ配信	7/27・3/21	15 人
		第 9 管区海上保安庁による灯台記念日 155 周年展示イベントへの協力	10/28・29	約 600 人
		闘イオン新潟南 マイクロプラスチック探しワークショップ(新潟県環境対策課との共同出展)	12/3	約 200 人

※新潟市がラムサール条約湿地自治体認証を受けたことを記念する事業・・・湿地への関心を高め、新潟市の魅力や可能性を知ってもらう内容を含む

(2) 海洋・河川文化の調査研究

区分	名称	内容
研究発表	J A Z A (日本動物園水族館協会) 関連	海獣技術者研究会での研究発表 ・座礁したカマイルカの保護と放流 ・カマイルカの飼育下繁殖 4 例における出生時の対応と成長の比較
	J A A (日本水族館協会) 関連	水族館研究会での研究発表 ・ウミガラスの人工育雛の一例
各種会議	J A Z A 関連	(全国) 通常総会、生物多様性委員会、水族館技術者研究会、海獣技術者研究会、イルカ会議、教育普及委員会、設備会議、など (ブロック) 園館長会議、動物園水族館合同技術者会議など
	その他会議	水産庁委託「さけます等栽培対象資源対策委託事業 新規栽培対象種技術開発(魚類・甲殻類) グループ」調査会議」、日本水族館協会「通常総会」「トレーニングセミナー」、新潟県博物館協議会、東京動物園協会「教育普及ふれあいシンポジウム」、名古屋港水族館主催「ペンギン類の飼育及び個体群管理勉強会」、大都市動物園水族館事務主管者会議など
研究	水産庁委託	アカムツの親魚養成技術の開発
	環境省委託	新潟県産コシノハゼ生息域外保全事業
共同研究	J A Z A	ユーラシアカワウソの泌尿器疾患にかかる研究・栄養評価
	岐阜大学	カマイルカの繁殖生理の季節性や生殖腺活動の状況などの調査
	三重大学	カマイルカの成熟オス割合を調べる手法に関する調査
	新潟大学	イルカから水中で無侵襲的に脳波を記録する方法を確立するための研究
	日本獣医生命科学大学	ハンドウイルカとカマイルカの代謝モニタリング調査

	日本大学	ペンギン類の鳥マラリア感染に関する研究
		カマイルカの形態的・遺伝的に異なる2集団に関する調査研究
	北海道大学	環境DNAを使ったコシノハゼの生息調査

(3) 海洋・河川文化の保護保全（生物種の保全を含む）

図・・・新規事業

区分	名称	内容	回数
生息域内 保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	2回
	コシノハゼ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	7回
	ハクバサンショウウオ調査	県内の希少両生類の生息調査	1回
	図タダミハコネサンショウウオ調査	県内の両生類の生息調査	2回
連携調査	ROV（水中探査機）	佐渡海峡深海生物調査（ふくしま海洋科学館との共同）	1回
	親子魚探検隊（五泉・新発田）	生物多様性保全ネットワーク新潟主催の自然観察会への講師派遣	2回
	水あぶり（関川）	タランペクラブの自然観察会への講師派遣	1回
生物調査	漂着混獲生物調査	県内の海岸に漂着または混獲された生物の調査	32回

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【主な事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

名称	プログラム	内容	実施日	参加人数等
企画展示	カマイルカの繁殖（春季）	2019年から4年連続で繁殖に成功したカマイルカについて、妊娠・出産・仔イルカの成長記録などを紹介した。	3/10~6/18	54,833人
	魚の色（夏季～冬季）	生体やパネルなどを用い、生息環境と体色の関係や生存戦略などを紹介した。	7/14~2/25	204,529人
	ふるさと新潟の魚（翌春季）～県の推進ブランド・市の銘産品～	県や市がブランド化を推進する魚の生体展示を行い、生態や人工授精についてパネルで紹介した。また食べ方や旬の時期なども紹介した	3/16~6/16	開催中

	SNS フォトコンテスト受賞作品展	館内で撮影した写真を Web 上で公募し、年 3 回コンテストを実施した。受賞作品各 2 点計 6 点を館内及び Web 上で公開した。	募集期間 ① 4/4~6/25 ② 8/1~10/20 ③ 11/23~2/25	応募総数 330 点
いきもの教室	水族館の水	水族館で扱う水がどのように取り入れられているかを見学しながら解説した。海水と淡水の違いや水の汚れなど実験を行いながら学んでもらった。	7/29	18 人
	イカの解剖	イカの外側のつくりや解剖した体の内側のつくり、また、生体の観察を行った。	1/20	17 人
	ビーバーのうんちペーパーづくり	ビーバーの生態を解説し、糞の観察と、糞を利用したペーパー作りを行った。	2/10	20 人
大人向け教室	写真教室	水族館の楽しみ方の幅を広げるため、水槽内の生物を撮影する際の工夫について職員がレクチャーした。	11/11	8 人
身体障がい者向け教室	サポートナイト	視覚に障がいのある子供とその家族を対象に、障がいに合わせた展示物の設置やガイドを行った。	6/24	42 人
ガイドツアー	ナイトツアー	通常観ることのできない閉館後の夜の水槽の様子を観察してもらい、昼と夜での生き物の活動の違いや外観の変化等を解説した。	8/25、8/26 9/1、9/2	74 人
	企画展示「魚の色」ガイドツアー	企画展示の観察ポイントや実験装置の使い方、展示の工夫などを職員が解説しながら案内した。	11/19、11/21、11/23	19 人
参加型イベント	※にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを解説しながら案内し、環境と希少生物の域外保全等を紹介した。また、ラムサール条約湿地自治体認証についても解説した。	4/15、5/20 6/17、7/15 9/16、10/21	43 人
	イルカバックヤードミニガイド	バックヤードやステージの見学を通して、飼育の裏側やイルカの生態について解説した。	10/14、10/21 10/28、11/4	51 人
	育成室開放	通常入室できない本館地下の育成室を、職員立ち合いのもと入館者に開放した。	11/18、12/16 1/20、2/17 3/16	489 人
	ミナミイワトビペンギン解説	ペンギン海岸観覧席を使って、ミナミイワトビペンギンを観察しながら形態や生態について解説した。	10/16~10/31 (計 16 回)	670 人
記念日イベント	ペンギンの日イベント	ペンギンの生態や野生の現状、飼育の工夫について、パネル展示やバックヤードツアーを通して解説した。	4/22、4/23、 4/25	64 人
	カワウソの日イベント	カワウソ類の生態や野生の生息状況などについての解説パネルを展示するとともに、ユーラシアカワウソについての解説を行った。	5/27、5/28	140 人

※新潟市がラムサール条約湿地自治体認証を受けたことを記念する事業…湿地への関心を高め、新潟市の魅力や可能性を知ってもらう内容を含む

(2) 水生生物の展示、収集、飼育

区分	名称	内容	回数	参加人数
常設展示	飼育展示	600種 20,000点の魚類、海獣その他水生生物の飼育展示規模を維持、拡大を図った。	常設	-
常設解説	イルカショー	イルカの認知、行動能力などを解説し、楽しく学べるイルカショーを実施した。(約 15分)	4~5回/日	-
	マリンサファリ 給餌解説	トドに餌を与えながら、体のつくりや生態について解説を行った。(約 10分)	2回/日	-
	ペンギン解説	ペンギンに餌を与えながら、分類や生態、生息地の環境について解説を行った。(約 15分)	2回/日	-
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物の紹介や海洋環境、水族館のしくみなどの解説を行った。(約 10分)	1~2回/日 (繁忙期以外)	6,235人
	磯のいきもの解説	磯の体験水槽で、生物の扱い方や、生息環境について、解説を交えながら実際に触れたり観察してもらった。(約 10分)	1回/日 (繁忙期以外)	2,916人
	アクアラボ体験	通常展示だけでは伝えきれない様々な生き物に関して、体験型プログラムで提供し、来館者へ発信した。(約 20分)	1回/日 (繁忙期以外)	2,497人

区分	名称	内容	回数
生物収集	水族館地先採集	アカモク、マヒトデ、マナマコなど	7回
	出雲崎アマモ場採集	アマモ場生物	7回
	新潟県内淡水生物採集	カジカ大卵型、アブラハヤ、タナゴ類等	6回
	佐渡乗船採集	深海生物(エビカゴ漁)	1回
	寺泊乗船採集	アカムツなど(刺し網)、アオリイカなど(定置網)	6回
	間瀬乗船採集	シキシマハナダイ、アカムツなど	4回
	所有ボート乗船採集	流れ藻	2回
	新潟漁協新潟支所	コンペイトウなど	2回
	新潟漁協西蒲支所	シマフグ、ニホンキサンゴなど	8回
	信濃川漁協	サケ卵	1回
	寺泊漁協	コブダイ、ミズダコなど	19回
	佐渡内浦漁協	ワカメ種系	1回
	阿賀野川漁協	カワヤツメ	1回
	新潟県水産振興協会	アユ、ヒラメ	1回
	海洋生物環境研究所	シロギス	5回
	宮城県・歌津町	マイワシ	1回
	静岡県・西伊豆松崎町	マイワシ	2回

	和歌山県（串本）	スマ輸送	1回
生物交換	ふくしま海洋科学館アクアマリンふくしま	サクラダイ、クロヌタウナギ、ウミガラス、マイワシ、コトクラゲ幼生、ミズダコなど	8回
	アクアワールド茨城県大洗水族館	クロヘリメジロザメ、アカムツ	2回
	下田海中水族館	サクラダイ	1回
	上越市立水族博物館うみがたり	ホシエイ、ザラビクニン	2回
他園館からの生物搬入	伊勢夫婦岩ふれあい水族館伊勢シーパラダイス	フンボルトペンギン：2羽（ブリーディングローン）	1回
	千葉市動物公園	フンボルトペンギン：3羽（ブリーディングローン）	1回
	東京都葛西臨海水族園	フンボルトペンギン：20羽（預かり）	1回
	ふくしま海洋科学館アクアマリンふくしま	ウミガラス：1羽（受贈）	1回
	のとじま水族館	カリフォルニアアシカ：1頭（預かり）	1回

収益事業

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置。

【主な事業内容】

■…新規事業

区分	場所	設置数
レストラン	本館2階	1ヶ所
軽食売店	屋外、屋上 ※季節営業	2ヶ所
移動販売車	アプローチ棟手前 ※季節営業	1ヶ所
売店	アプローチ棟	1ヶ所
自動販売機	館内各所	19台
ロッカー	本館1階	1ヶ所
記念メダル	本館1階	2ヶ所
プリントシール機	水辺の小動物ゾーン	1ヶ所
■カプセルトイ（コイの餌）	屋外	1ヶ所